

各地の野鳥から 高病原性鳥インフルエンザウイルスが 分離されています

場所	種名	確定日	亜型
島根県 安来市	渡り鳥糞便	11/13	H5N8
千葉県 長生郡	カモ類糞便	11/22	H5N8
鳥取県 鳥取市	カモ類糞便	11/27	H5N8
鹿児島県 出水市	衰弱したマナヅル	11/29	H5N8
東京都 大田区	死亡したホシハジロ	確定検査中	

11月21日から、野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルが「対応レベル3」に引き上げられています。これに伴い県内でも対応レベル3に引き上げられました。

※具体的には、カルガモ等リスク種3の死亡野鳥について「10羽以上死亡していたら検査」から「5羽以上死亡していたら検査」に変更

海外でも、HPAIの発生報告が相次いでいる状況です

・インドでのH5N1亜型、ヨーロッパでのH5N8亜型(裏面)

発生日 2014年11月20日
動物種 あひる
発生件数 2
飼育羽数 241,807
発生羽数 15,500
死亡数 15,500
淘汰数 2,290



発生予防が大切です！

- 野鳥、野生動物などの鶏舎への侵入を防止。
- 農場・鶏舎の出入口での消毒の徹底。
- 関係者以外の農場への立入制限・発生国への渡航の自粛。
- 入退場する人や車両についての記録・消毒の徹底。

※過去21日間の平均死亡率の2倍を超える死亡があった場合等、異状を発見した場合には、すぐに家畜保健衛生所(飛騨総合庁舎 電話 0577-33-1111)まで連絡してください。

※平日時間外(午前8時30分～午後5時15分以外)や休日の電話に対しては、「電話交換業務が終了しています。」に続く、「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」の案内メッセージに従って対応をお願いします。

欧州における高病原性鳥インフルエンザ(H5N8)の発生状況(2014年以降)

2014年11月25日現在

ドイツ

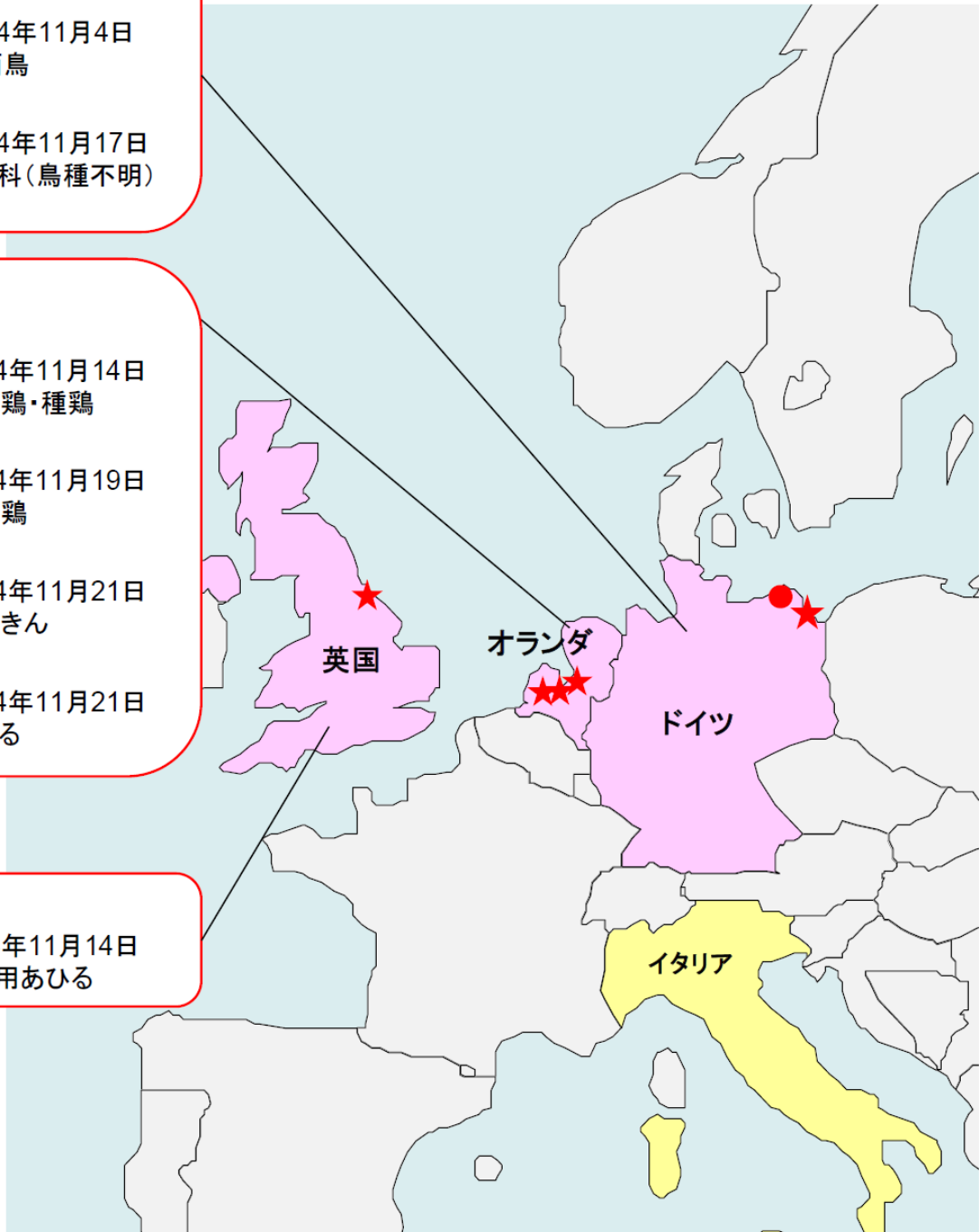
- (1件目)
発生日:2014年11月4日
動物種:七面鳥
- (2件目:野鳥)
発生日:2014年11月17日
動物種:カモ科(鳥種不明)

オランダ

- (1件目)
発生日:2014年11月14日
動物種:採卵鶏・種鶏
- (2件目)
発生日:2014年11月19日
動物種:採卵鶏
- (3件目)
発生日:2014年11月21日
動物種:種家さん
- (4件目)
発生日:2014年11月21日
動物種:あひる

英国

- 発生日:2014年11月14日
動物種:繁殖用あひる



※低病原性鳥インフルエンザの発生

ドイツ	H5N1	2014. 3. 9
	H5N2	2014.10.7
オランダ	H5N1	2014.2.26
	H5N2	2014.3.12
イタリア	H5,H7,H7N1	2014 上半期

■ :高病原性発生地域

■ :低病原性発生地域

★ :家きんの高病原性発生地点

● :野鳥の高病原性検出地点

※ 高病原性・低病原性併発地域は高病原性と表記

出典:OIE等